

# 令和3年度 第75回関東高等学校女子バスケットボール大会

令和3年6月12日(土) Aブロック 1回戦 ALSOKぐんまアリーナ Cコート 第4試合

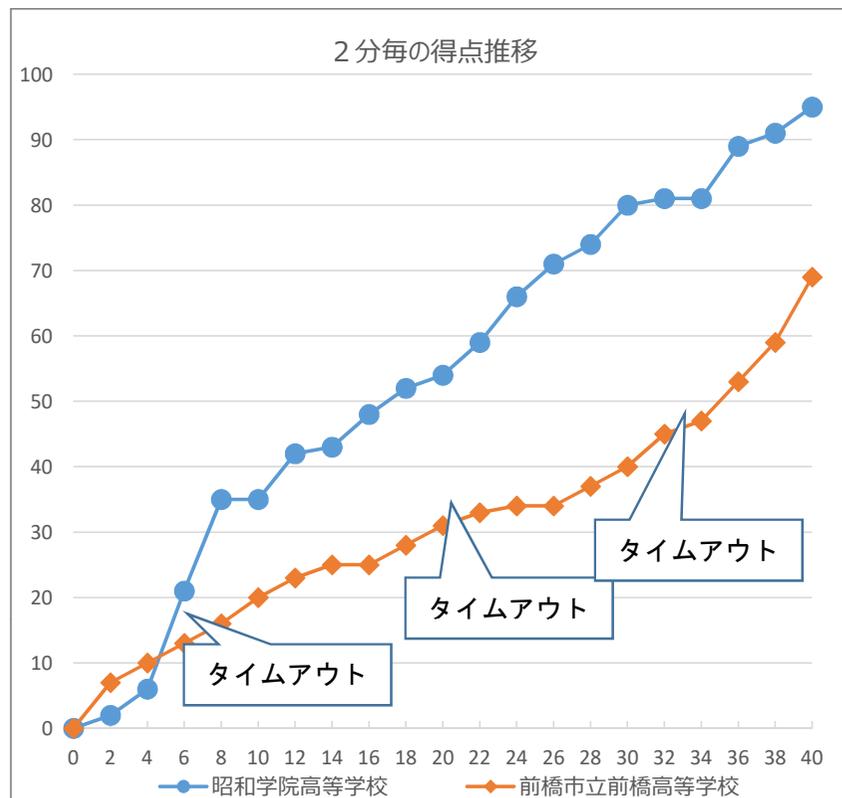
チームA	95	35 1st 20	69	チームB
昭和学院高等学校 (千葉県)		19 2nd 11		前橋市立前橋高等学校 (群馬県)
		26 3rd 9		
		15 4th 29		
		OT		

## Aチーム: 昭和学院高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		4	西 フアツマ 七南	16	2	5	4	7	2	2	1	4	4	8
2		5	石橋 花穂	13	3	8	2	3	0	0	1	2	6	8
3		6	エズゴ 梨々杏	9	2	3	1	2	1	1	1	0	2	2
4		7	田平 真弥	6	0	2	3	5	0	0	2	2	10	12
5		8	花島 百香	14	0	4	6	7	2	5	2	3	3	6
6		9	田嶋 優希奈	15	5	8	0	1	0	0	0	1	1	2
7		10	桃井 瑠奈	4	0	1	2	3	0	0	0	0	1	1
8		11	小島 夢生	7	1	3	2	2	0	0	2	0	1	1
9		12	アチャラ オゲチ クランシー	6	0	0	3	8	0	0	5	4	4	8
10		13	清水 さくら	3	1	4	0	3	0	0	2	0	1	1
11		14	小松崎 萌愛	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
12		15	殖粟 佳穂	2	0	3	1	4	0	0	1	0	2	2
13		16	山本 羽南	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
14		17	米須 莉奈	0	0	2	0	1	0	0	0	3	0	3
15		18	春川 麗	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	1
HC/TEAM			鈴木 親光											
合計				95	14	45	24	46	5	8	19	21	36	57

## Bチーム: 前橋市立前橋高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		4	関口 もえ	31	4	11	7	19	5	6	4	2	4	6
2		5	花岡 莉	11	1	4	2	20	4	6	2	2	7	9
3		6	立石 葉菜	13	1	2	3	10	4	8	2	3	2	5
4		7	田部井 颯希											
5		8	佐藤 愛心	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
6		9	田村 花月											
7		10	井手 陽音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8		11	西川 麻純	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
9		12	関口 まお	5	1	2	1	4	0	0	0	3	2	5
10		13	阿久津 みなみ	9	0	1	3	13	3	6	4	4	5	9
11		14	小室 菜々子											
12		15	銚田 ひかり											
13		16	三富 さくら											
14		17	鈴木 優良											
15		18	中澤 愛心											
HC/TEAM			平田 剛久											
合計				69	7	0	16	0	16	0	0	15	21	36



## 戦評

記者者: 羽鳥 綾 (群馬県高体連)

Q1:両チームともオールコートマンツーマンディフェンスで試合開始。高さのある昭和学院に対し、市立前橋は持ち前の素早い攻撃で得点を重ねる。#5、#9の3Pが決まると、流れは一気に昭和学院に。市立前橋のターンオーバーが続き、19-10と点差が離れたところで市立前橋がタイムアウト。堅い守りと#4の連続得点で市立前橋が粘るが、35-20昭和学院リードで第2Qへ。

Q2:昭和学院の高さと激しいディフェンスに苦戦しつつも、市立前橋は足を止めないオフェンスで追いつこうと試みる。#12のオフェンスリバウンドから何度もシュートチャンスを作る昭和学院がリードを広げ、54-30で前半終了。

Q3:昭和学院ハーフコートマンツーマン、市立前橋オールコートマンツーマンで後半戦開始。昭和学院は、#5、#9の3Pや#12のインサイドプレイで得点を重ねていく。市立前橋は、#4、#5のドライブや#6の合わせで得点を試みるが、シュートが決まらず点差が開いていく。思うように攻めることができない市立前橋に対し、早い展開でバスを回しアウトサイドのシュートを確実に決める昭和学院の勢いは止まらず、昭和学院が大きくリードを広げ80-40で第3Q終了。

Q4:昭和学院がスタートメンバーをベンチに下げ、第4Qへ。市立前橋は、積極的なディフェンスと#4中心の攻撃で点差を縮めようとするが、昭和学院の高さを前にシュートを決めることができない。#13の合わせや#4の連続3Pで最後まで粘り続けた市立前橋だが、昭和学院の高さを生かした攻防とシュート力を前に一歩及ばず、最終スコア95-69で昭和学院が勝利した。

主審	第1副審	第2副審
村上 恵美 (指名)	栗原 萌音 (栃木県)	六角 亜沙美 (東京都)